

# ECALGA

## ECセンター活動概要

JEITA  
EC CENTER

ECALGA

# ECセンター活動指針

電子・電気の実務者による業務実態に沿った活動が基本

今日よりは明日、明日よりは明後日と、常に改良改善を絶え間なく続ける。創意工夫を重ねる

ECAALGAユーザのグローバル化と多様化

業際連携の必要性

国際連携の必要性

電子情報交換からeビジネスの標準化へ

- ・ ビジネス実態の進展を反映した電子取引
- ・ 国際取引や業際取引にも効率的に活用される電子取引
- ・ 商品のライフサイクル全体に対しての情報発信が可能

# E CALGA標準の対象範囲

追補版の表示部分



商品企画	基本設計	性能設計	詳細設計	開発	原価検討	納期検討	仕様決定	需要予測	生産計画	材料計画	フォーキャスト	発注	受入	生産	出荷
------	------	------	------	----	------	------	------	------	------	------	---------	----	----	----	----

協業レベル ↑

納入／購入仕様書／環境／廃止品情報交換

高度協業モデル(所要～予約～確定注文)

預託取引 (JEITA-VMI/コンサインメント)

部品情報／サンプル／  
技術見積／汎用技術情報交換

標準多品納品書

(ECALS)  
カタログ情報  
環境情報

(従来EDI)  
通常取引  
注文・出荷・買掛・支払・・・)

EDI対象範囲

E CALGA標準においてビジネスモデルの水平展開を、ほぼ完了した。

# マネジメント（経営者）のニーズ

継続的に利益を生み出し、成長し続ける企業

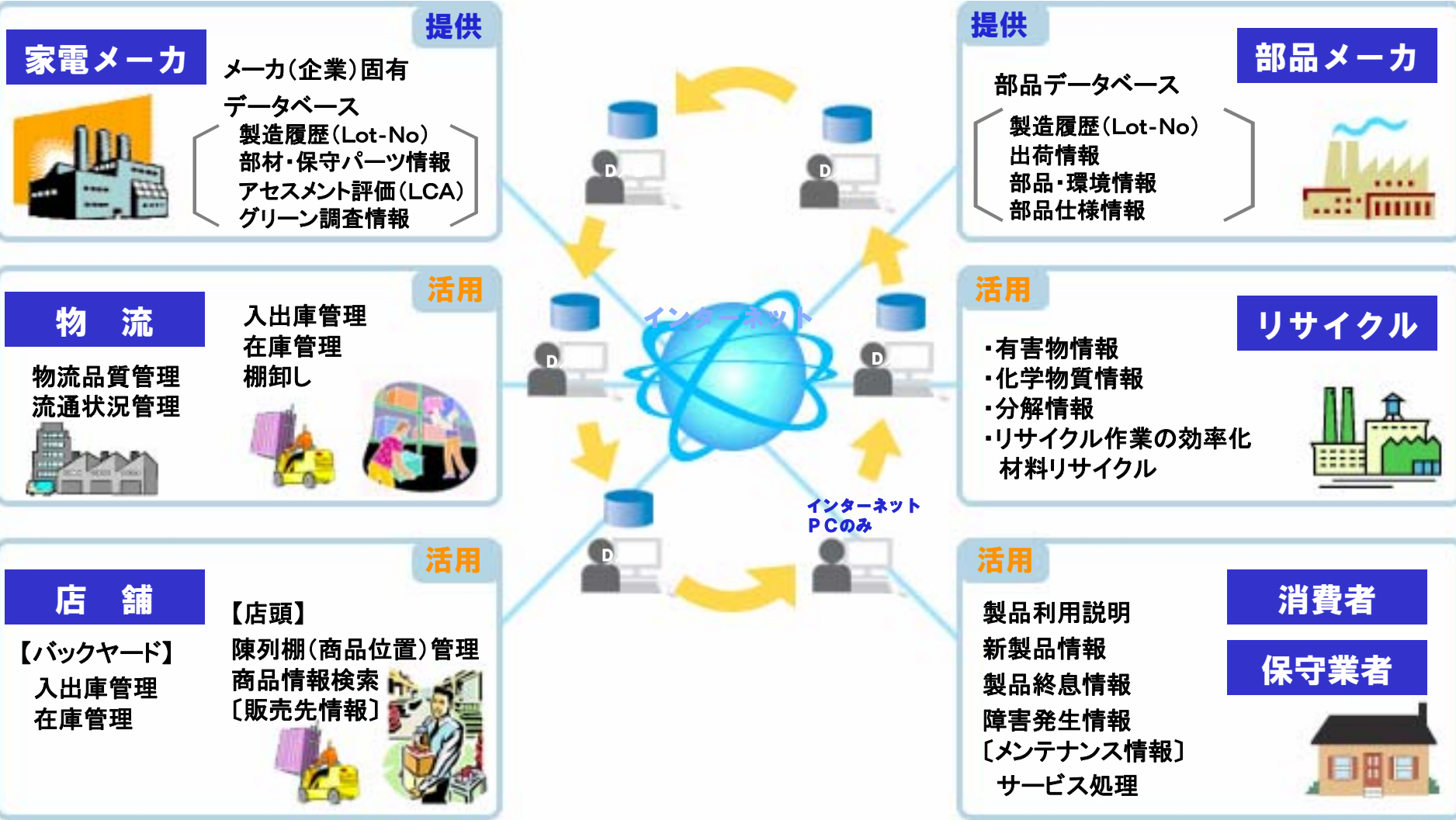
企業内はもちろんのこと、企業を取り巻く環境との接点に源泉がある



拡大する社会的接点と  
事業成長の両立

電子情報交換から e ビジネスの標準化へ

# 企業を取り巻く e ビジネス



## 今期の重要課題（キーワード）

### 1) 業際（対象利用者／取引の拡大）

- ・ 個別受注生産／加工委託に必要な情報項目の追加検討
- ・ 品質環境リサイクルの構想検討

### 2) グローバル

- ・ 海外対応ビジネスドキュメントの検討

### 3) 普及（実用化）

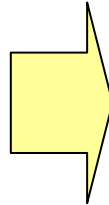
- ・ メールEDI
  - ・ Web-EDI
  - ・ ASP連携
- } 導入ガイド完成

- ・ C I I とXMLビジネスドキュメントの併用整備
- ・ ECM実用化企業の支援強化

# メール・Web-EDIのガイドライン整備

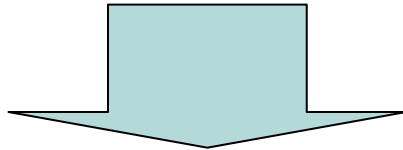
## インターネットで続々出現する情報発信利用形態

ftp、メール、Web、RSS・・・  
多様な表現形式を利用した  
データ交換方式が発生



- ・ EDIの実現利用形態複雑化
- ・ 多表現現象による運用混乱
- ・ BtoBコンピュータ間での処理後退

EDIとは：異なる企業間で、商取引のためのデータを通信回線を介して、標準的プロトコル(ビジネスプロトコル、通信プロトコル)を利用しコンピューター間で交換すること。



ECALGAでは・・・

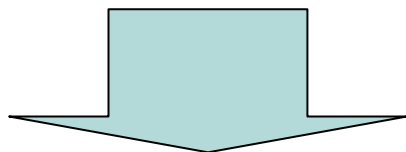
インターネット等での多種多様な情報交換、表現形式に標準を制定するのは困難

少量取引企業とのEDI（データ交換）実現の観点から

メール、Webを利用したEDI、ASP間の連携の導入/運用ガイドラインを作成  
(データ交換を効率的に行うことを実現するために望ましい使い方に関する指針)

## 検討テーマ重視の委員会活動

- ・ 潜在、顕在企業ニーズの掘り起こし
- ・ 業界／企業の壁を超えた活動



## 一層の効率的な委員会運営体制へ

- 1) 世代交代進展の中での、次世代へのノウハウ移管
- 2) 企業有識者（委員会OBを含む）の経験や知識の伝承
- 3) 前年実施した組織変更の評価
- 4) 実務者の委員会参加率向上



ご清聴  
ありがとうございました。

